

JSRレポート

JAPAN SPORTING GOODS RETAILER

創刊号

平成8年12月25日発行

編集
全日本運動用具小売商組合連合会

発行
全日本運動用具小売商組合連合会

〒111 東京都台東区浅草橋5丁目8番6号
東京スポーツ会館202号室

電話 03(3865)7691番(代表)
FAX 03(3865)7704番

「JSRレポート」発刊に際してのご挨拶

全日本運動用具小売商組合連合会
会長 魚見 秀男



永年の懸案でありました全運小連の組合員各位への機関紙「JSRレポート」の発刊がいよいよスタートする事が出来ました。

組合員の皆さんとつながりパイプの様なものを早くから作ることを願っておりました。この度、

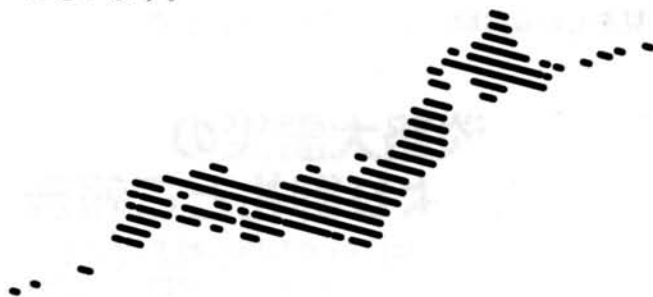
辻本理事長の尽力により、ここに、「JSRレポート」という名前の機関紙を発刊出来ます事を大変嬉しく思います。

この「JSRレポート」は、全運小連本部の活動をはじめ、北海道から九州までの8ブロックの

活動、そして、47都道府県の活動、その他スポーツ用品業界の動き等を盛り込んで、その「JSRレポート」を、2,350店の組合員、日頃お世話になっている卸、メーカーの皆さんにも全運小連の事務局から直接お届けしたいと思います。

そして、「JSRレポート」を通じて2,350店の組合員の皆さんと結ぶ和ができる事を望みます。

発刊に際し、一言ご挨拶を申しあげた次第でございます。



全日本運動用具小売商組合連合会
理事長 辻本 昌孝



平成8年3月、宮崎の全日本運動用具小売商組合連合会の全国総会におきまして橋本理事長の後任の理事長として就任させて頂きました辻本昌孝でございます。

昭和19年生まれの誠に若輩ものでございますが、魚見会長、橋本直前理事長を初め、多くの諸先輩方々のご努力で築いてこられました組合の活動に、一生懸命取り組みたいと考えております。宜しく、叱咤激励たまわりますようお願い申し上げます。

私は全運小連の理事長に押されました時、この

大変な時に、私が理事長にして頂いて、「何が出来るだろうか?」と考えました。「組合に入ってメリットあるの?」、「全運小連に入ってメリットあるの?」という言葉が良く言われます。そこで考えました。メリットを与える組合を作れるのだろうか、メリットを与える事が出来る理事長になれるのだろうか。そんな事は出来ないと思いました。

私は全運小連の理事長である前は、愛知県という一つの県の理事長であり、その前に私は一スポーツ店の店主でしかありません。ですから、皆さんに偉そうにメリットを与える事など出来ません。

それよりも、組合とは私達弱い零細な商店主等が集まって、お互いに知恵を出し合い、得たいものを得ようとする貴重な存在となる必要があるの

ではないでしょうか。

その零細な小売店2,350軒が集まって、手をつないでみようではありませんか。随分と大きな輪が出来ると思えます。大きな輪を大きな「和」として、2,350軒のつないだ手と手に、暖かい物が流れるようになれば、よい事も出来るのではないのでしょうか。

その手をつなぐ触媒として組合の機関紙「JSRレポート」が作用してくれる事を願います。

実際は準備の期間も短く、まだまだ、機関紙と呼べるような代物ではありません。

しかし、早く2,350軒の皆さんと手をつなぎ、早く大きな輪を作りたく、魚見会長を初め、常務理事の皆さんにお願いし、「ゴー」のサインを頂きました。

未完成のまま世に送り出しますので、失礼かとは存じますが、創刊号より第2号が、第2号より第3号と、この「JSRレポート」が充実し、皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張りたいと存じます。そして、その為にも、組合員皆様方の投稿、ご意見を心からお願いして、ご挨拶と致します。

阪神・淡路大震災の 神戸より御礼とご報告

兵庫県運動用品商業協同組合
理事長 宇田 卓勝

前期までの田中理事長に変わりました、今期より兵庫県の理事長に就任致しました宇田貞勝でございます。

大震災から、1年11ヶ月経過致しました。

その節は、早速、近畿ブロックの岡本会長から、お声を掛けて頂き、全運小連の魚見会長、当時の橋本理事長皆様に音頭をとって頂き、又、業界紙の報道のお陰もあり、全運小連の各県、全国の卸さん、そしてメーカーの皆様より大変沢山の義援金を頂く事が出来ました。

その後、岐阜で開催された総会、宮崎で開催された総会に、田中理事長と兵庫県姫路のスポーツマンの讃岐さんがお礼に参上いたし、ご報告致しましたが、全運小連の機関紙が発行されるという事なので、早速、御礼の寄稿をさせて頂きました。

宮崎の総会にて報告させて頂いたことですが、平成7年12月までに小売組合関係より約800万円、

卸関係様より約250万円、メーカー関係様より約350万円、合計1400万円の義援金が集まりました。

この配分につきましても、より公平に、出来るだけ多くの方にという事で、頂きました浄財を、全壊のお店13件、半壊のお店4件、三分壊のお店4件、二分壊のお店5件、一分壊のお店8件へそれぞれお見舞いをさせて頂きました。

本当にありがとうございました。

私たち、神戸を中心とした阪神地区ではお陰様で、随分復興してまいりました。観光地の一つであります異人館街も、風見鶏等一部を除いて、観光客を受け入れが出来るまでになりました。

しかし、一步町の奥へ入りますとグラウンドや、公園は仮設住宅でいっぱい、スポーツを楽しむ環境が出来ておりません。

そしていまだに、人口が回復しておりません。このように回復途上の神戸、阪神地区でございます。

兵庫県下で被災組合員34店、全壊13店、内2店は廃業されております。他のスポーツ店は、新築されたり、改装されたりして営業を継続しております。

大変遅くなりましたが、兵庫県神戸より御礼と、ご報告申し上げます。

又、次回、機会を頂ければ、被災組合員の声をお伝えしたいと思っております。

その後、平成8年に入ってから、インターハイの鳥取県さん、国体の福島県さんを初め、その他の県からも義援金を頂いております。

本当にありがとうございました。



ガンバレ 神戸、 ガンバレ スポーツ店

全日本運動用具小売商組合連合会
会長 魚見 秀男

もう少しで、あの阪神、淡路大震災も発生以来、2年を迎えようとしております。

被災していない私たちがどんなに、言葉でお見舞いを申しあげても、何をして差し上げて、実際に被災された方々の、苦しみ、恐さ、辛さなど表現も出来ないし、お慰めも出来ないように思います。それだけ、今回の震災は大変なものだったのだらうと存じます。

初年度、スポーツの小売店、卸、メーカーの皆さんから大変沢山のお見舞金が寄せられました。そのお見舞金は兵庫県の組合に届けられ、組合の方から分配して頂きました。

被災された方々に取りましては、あれだけの多額な寄付金でも、いざ被災者の方々に分ければ、焼け石に水の金額にしかならなかった事は想像できます。先日、神戸へ訪れた際、町を歩いて見ました。街は、随分きれいになっておりましたが、まだ更地のままであったり、仮設住宅があったりで、神戸の被災された皆さんにとりましては、まだまだ大変な時を、お越しの事とお察し申し上げます。

このような時こそ、組合のメリットと言いますか、組合の仲間意識発揮して応援したいと存じます。兵庫県以外の組合の皆さんに取りましても決して楽な時ではない事は分かっておりますが、被災された方々の事を思うと何かして差し上げたい。何かして差し上げなければと思うのであります。

お願いできれば県単位でまとめて頂き下記のところへ贈って頂きたく存じます。特に、国体、インターハイ、全中大会等の事業があった県におかれましては宜しく願い申し上げます。

世話人代表は

〒672 姫路市飾摩区清水町1-1 ヒロセ体育堂
広瀬 弘 様 です。
Tel. 0792-34-3434 Fax. 0792-34-5552

お振り込みは

郵便預金口座 記号 14310
番号 56962011
宛名 兵庫県スポーツ小売組合
地震対策本部

第46回 定時総会の大枠決定

四国・香川県・琴平で

あいましょう

来年の全運小連の総会の大枠が常務理事会で承認されました。日程、会場について次にお伝え致します。

主管県の香川県の前川理事長さんは四国ブロックの大上会長さんはじめ、ブロック各県の暖かい応援を頂き大変燃えて準備をして下さっています。

全国各都道府県におかれましては沢山の組合員代表の出席者を出して頂き、総会を盛り上げて頂きますよう、お願い申し上げます。

また、卸、メーカーの皆様におかれましても、万障お繰り合わせ頂き、ご出席頂き各都道府県の代表者との交流をして頂きますようお願い申し上げます。

記

第46回 定時総会のスケジュール

日 時：平成9年3月12、13、14日

会 場：琴平ロイヤルホテル・琴参閣
香川県仲多度郡琴平町685-11
Tel. 0877-75-1000

12日(水) 15:00~17:00

理事会(各都道府県2名)

13日(木) 9:00~11:30

JSEC (関係者)

13:00~13:50

総会

13:30 卸、メーカー受付

14:00~16:45

三層協議会

18:30~20:30

懇親会

14日(金) エクスカーション

*ゴルフコース

*観光コース (8:45~12:30)

以上となっております。新年には、主管県よりご案内が届きますので宜しく願い申し上げます。

第4回 常務理事会

常務理事会に先立ち午前11時より全運小連の四つの委員会、スポーツ券委員会、展示会・個展・活性化委員会、JSEC委員会、公取協・PL委員会に別れて、それぞれの問題点を協議し昼食をとった後、机をロの字に並べ替えて、常務理事会に入りました。

日時：平成8年11月11日、pml：00～4：00

会場：東京スポーツ会館4階会議室

(常務理事会構成員28名)

常務理事本人22名+代理1名+監事2名+

委任状3名=28名

(本日の特別参加・10名)

四国ブロック事務局・好多事務局長

(社)日本スポーツ用品工業協会・川又専務理事他
ヒットユニオン、オンヨネ、デサント、アシックス、ミズノ、ゴールドウィン、キャピタル計7社

大東京火災海上保険(株)名古屋支店・宮崎係長

常務理事会は正副の会長、理事長、会計理事、日本を8ブロックに分け各々のブロックから選出された2人の常務理事と監事で構成されております。

司会は谷副理事長が担当した。

谷副理事長は、【開会の辞】を橋本副会長、その後、魚見会長と、辻本理事長の挨拶の紹介をしたあと、議長に辻本理事長を出席者の承認の上、指名した。

議長は、議事に従い報告事項より入り、オブザーバー出席の多い日本スポーツ用品工業協会から出ている「JASPOサイズ規格の改定について」の議事を最初にまわして、説明を請うた。

【報告事項】

1) JASPOサイズ規格の改定の件

最近、子供たちの体格が大きくなり、今まで

使ってきたJASPOサイズの見直しをしたいという事でその経過の、報告があった。

全運小連としては、突然の事でもあり、今回は、その報告を聞いた、と言う事にとどめました。

詳しくは、別の項目にて(P.11)報告します。

2) スポーツ券委員会(石井委員長)

・郵便局の窓口でスポーツ券を取り扱う「ギフト券メール」が平成9年10月いっぱい行われると報告があった。

・これはスポーツ券の他に、文具券、トイカード、シューズ券等があり一口3,000円以上に一件につき550円の送料で、郵便局の窓口で販売サービスが始まったということです。

3) 見本市・個展・活性化委員会(平岡委員長)

・高体連バレーボール専門部の50周年記念のTシャツ、トレーナー等の頒布について、学校の先生が商売人のような行為をすることについて、申し入れをしたい。

・中国ブロックの「ハワイ旅行」付きのイベント事業について報告があり、申し込みのはがきに「好きなスポーツは?」、「オリンピックを見て血が騒ぎますか?」等のアンケートをつけたとの報告があった。

4) JSEC委員会(谷委員長)

・全国総会における、JSECの会議は、全運小連で設営する事になった。

・JSEC(石本会長)との会談が11日pm.5:00よりあり、諸問題について協議する。

5) 公取協・PL・機関誌委員会(辻本委員長)

・スキーに関するPL保険の件については、輸入協との話し合いの上、「ワークショップチケット」で対応する事になったと報告があった。この件についてP.6掲載。

・機関誌「JSRレポート」に関連事項の報告
機関誌を各お店に送るため、「宛名シール」を完備するための作業に、「宛名シール」に訂正箇所があったらFAXを送って頂くようにしたら、組合員2,350件、卸、メーカーで200件の内、530件ものFAXが事務局に届きました。事務局としては、「宛名シール」の誤りが多かったことを悲しむのではなく、それだけ関心を持って頂けた方が530件はあったことに喜びを感じました。

- 6) 未来事業構想委員会・主催スポ産団連
(魚見会長)
- ・現時点の内容では全運小連では参加が困難であり、企画の練り直しを要望、現状では不参加の意向を伝えた。
- 7) ブロック総会出張報告(辻本理事長)
- ・今年は、中部ブロック、中国ブロック、関東甲信越ブロック、近畿ブロックと訪問した。今までは、自分のブロックしか知らなかったが、今回各ブロックを廻り、各々のブロックで研究され、活性している事業に接して、感動したと報告。
- 8) NSGAリサーチニュース(小関常務理事)
- ・全米スポーツ用品協会発表の「スポーツの人気：州別毎の調査」について資料に従い説明。
- 9) 国体後の会計処理について(辻本理事長)
- ・愛知県に税務(源泉徴収)調査が入り、理事日当、売店日当、バイトの日当等の解釈について、報告があり、公正なる税務処理をされるよう要望した。
 - ・理事日当は支払い方で「月額乙欄」でも可、「日額乙欄」だと29%ほどになる。
 - ・「売店日当」は組合と組合員との契約について、聞かれた。契約先がお店なら源泉は¥0円で、お店の雑収入に上げなければならない。個人の収入なら「日額乙欄」で29%の源泉になる。
 - ・「バイトの日当」は日額丙欄の適用で55円/10,000円。
- ・前回の常務理事会で期日、会場、講師等については決定したが、他の保留部分と、未定の部分について、開催県より出てきた案を協議した。
 - ・決定事項については別紙に掲載(P.3)
- 2) 平成10年度(第47回)の全運小連の定時総会は近畿ブロックの大阪スポーツ用品専門店協同組合の主管で開催を予定したいと協議し、審議に切替え可決。
- 3) 全国高体連バレーボール協会のTシャツ販売の件(前回から継続協議)
- ・千葉県から出された件ですが、大阪の高体連バレーボール協会から出された印刷物であるが、いろんな議論が出た中から、他の種目にも飛び火する恐れがあることから、今の時点で、高体連バレーボール協会に対して、「先生の商行為は」いかがなものか、「このような商行為は謹んでほしい」というような文章を出すことを、審議事項に代えて可決した。
 - ・この件については、平岡副理事長と事務局にて、過激でない、柔らかな内容にて対応するよう要望が出された。
- 4) 卓球の通信販売の件(四国ブロックからの上程) このチラシ広告は名古屋の小売店であるため、辻本理事長が調査し、次回報告することとなった。
- 5) PL保健加盟店のステッカーの件
PL保健加盟店のステッカーをつくるにあたり3案より協議の結果、決定。大東京火災より、証書と一緒に発送することになった。
- 6) 第2回ワールドスポーツサミット(ドイツ・ミュンヘン)に参加の件。
まだ詳しいスケジュールは来ていないが1997年2月3日に開催されるスポーツサミットに参加することが、意味あることかどうか協議された。

【審議事項】

1) 表彰の件(魚見会長より)

- ・特別表彰=県組合において、前年度より10%UPの組合員の加入増強が出来た県を表彰。
- ・地区功労者表彰=各県より申請のあった組合の理事経験者で、功労のあった人を表彰する。

以上、原案どおりで可決。

【協議事項】

1) 平成9年(第46回)全運小連定時総会の件

1 回目について、辻本理事長と小関常務理事の出席について協議を、審議に切替え採決の結果、2人を派遣することに決定。費用に関しては、まだ次年度の予算も立てていないので、平成9年度の事業計画、及び予算に組入れ、暫定的に仮払金として支出することが内定した。

7) 次回の常務理事会の開催について

- ・期日 平成9年2月12日
- ・場所 東京スポーツ会館4階会議室
- ・時間 11:00～ 委員会
12:00～ 昼食
13:00～ 常務理事会
16:00 終了

8) その他 なし

【閉会の辞】

下田副会長より出席者に対し熱心な協議、審議にお礼を述べ、閉会を宣した。

委員会レポート

◎スポーツケン委員会より

「ギフト券メール」について

郵便局の窓口で、スポーツ券を扱うようになりました。それは、「ギフト券メール」というサービスです。

「ギフト券メール」というサービスは、ギフト券を「配達記録郵便」でお届けするサービスです。郵便局の窓口では、スポーツ券、文具券、それにクレジット会社の商品券等も扱っておりますが、1口3,000円以上に、1件につき550円の送料で、郵便局の窓口でサービスが始まりました。

郵便局の「ギフト券メール」の中でもスポーツ券は健康を送ると言うイメージで好評とのことでした。

しかし、スポーツ券を受け取られた方が、スポーツ用品を買おうと思っても、取扱店が少なくは、受け取られた方が困ってしまいます。

組合員の皆さんの中で、まだ取扱店になっていないお店は、問屋さんに言って、「スポーツ券取り扱い申込書」を取寄せて頂き、早速加入手続きの程、お願い申し上げます。



◎公取協・PL委員会より

スキーの「ワークショップチケット」について

昨年より、スキーの販売店において、PL対策という事で、「ワークショップチケット」が導入されました。

「ワークショップチケット」とはショップがスキーにビンディングを取り付けた場合、そこで製造物責任が生じますので、取付け依頼人のスキーの技量等の申告にもとずき取付けした旨、等の「同意書」の事を言います。

今年は、その「ワークショップチケット」にPL保険を付けてあります。

「ワークショップチケット」は1枚@30円×100ページで1冊、3,000円で、ビンディングの取付け講習会の場において、スキーショップ、レンタルショップに普及しております。

もし、「ワークショップチケット」について聞きたい事がありましたら、スポーツ公取協の専務理事で、輸入協の事務局長の宮地さんまで電話をして、尋ねてください。(スポーツ公取協のTel.03-3219-2531、Fax.03-3219-2533です。)

また、組合でお勧めしていますPL保険の件ですが、スキーの取扱店と、そうでない店と、2種類の料金が出ておりましたが、スキーに関するPL(製造物責任)は「ワークショップチケット」の保険で1本化して対処する事と致しました。

そこで、組合のお勧めしている大東京火災海上保険のPL保険は、



Aタイプ (PL保険のみ)

Bタイプ (販売者責任保険+PL保険)

の2種類になり判りやすくなりました。

全運小連・団体加入PL保険の加盟店の
ステッカーを大東京火災海上保険さんにつ
て頂きます。11月11日の常務理事会で3つの案か
ら1つを決定、加入店の皆様のところへ、12月中
に加入者証と一緒に届けられる予定です。

各県レポート

「ひろしま国体を終えて」

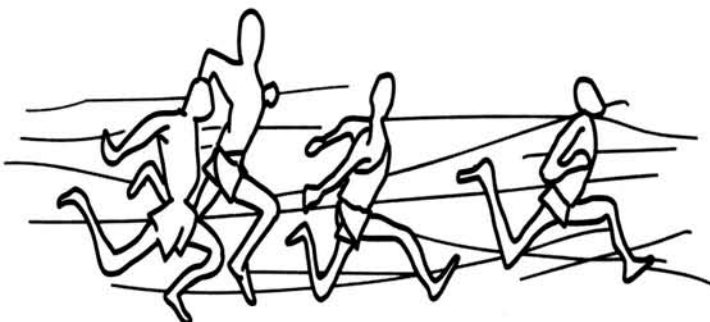
広島県スポーツ用品協同組合
事務局次長 渡辺 健介

ひろしま国体特別事業の為、検討に検討を重ね、
時間を掛けて準備し、指折り数えて待ったひろし
ま国体も、10月27日の「おりづる大会」で幕を閉
じました。12月に入っても、まだ木原特別事業実
行委員長、茸谷理事長、沼の事務局次長と私の4
名は決算報告書の残務整理に忙殺されておしま
す。

さて、大会期間中4日間も雨が降り、衆議院選
挙と日程が重なった事など、売上の伸び悩む要因
は幾つか考えられますが、早朝より遅くまで、
組合員はじめ、メーカー、問屋、NSKの皆様方の
積極的な協力と、努力のお陰で目標に近い成果を
収める事が出来たのではないかと思います。紙上
をお借りして改めて御礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

何事も、一つの事を成すということは、何より
も「和」と「協力」が大切だと、「ひろしま国体」
を振り返って思う今日この頃です。



「山梨インターハイを終えて」

山梨スポーツ専門店協同組合
インターハイ対策委員長 田辺 裕人

「かけぬける夏、風をきれ山梨で」のスロー
ガンのもと全国から約五万人以上の選手役員が
参加、県下二十七市町村、二十八種目が八月一
日より、好天の中、盛大に開催されました。私
ども組合員は炎天下の中、一丸となって、各会
場地の売店テントでの販売及び管理に当り、お
かげさまで素晴らしい成績のうちに終了するこ
とが出来ました。

山梨県スポーツ専門店協同組合は平成六年十
一月に「かいじ国体」以来、停滞していた組合
を、神山理事長以下三十五名をもって再出発を
果たしました。平成七年八月の「全中大会」の
陸上競技を無事終らせ、インターハイ対策委員
会を組織し、本格的準備に入りました。開催地
別に五つの支部組織を作り、各々の支部長を中
心に積極的に活動し、JSECより申請されたメー
カー及びNSKのテントを100%認可してもら
うことが出来ました。

JSECとの協定書の作成段階で十分な話し合い
の時間をもち、テント代の事前の徴収と、売上
達成による割増し手数料を定めることが出来ま
した。しかし、残念ながらNSKの売店売上が前
年を上回る事が出来なかった為、新しい契約の
メリットを出ませんでした。

今回の山梨インターハイの大きな目標として
は、諸準備や販売活動を通じて組合員相互の親
睦を深めること出来た事と、売上金による組合
の経済的基盤の確立が出来た事が上げられます。
しかし、それ以上に大切なことは、「将来のスポ
ーツ界の発展の為に還元すべき」と、いう観点
から、高体連専門部に協賛金と広告費の名目で
五百万円寄付いたしました。

大会が終了して反省点は幾つかありますが、
組合員全員が諸準備から本番までの数ヶ月素晴
らしいチームワークで乗り切ることが出来たこ
とに感謝申し上げます。

最後に、「山梨インターハイ」にご協力頂いた
メーカー各位、JSEC、NSKの関係者の皆様に、
この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

海外レポート

「第一回スポーツ用品 小売ワールドサミット」

全日本運動用具小売商組合連合会
常務理事 小関 和夫
(山形県理事長)

去る7月、米国のNSGA（全国スポーツ用品協会）の招きで、シカゴで開催された上記の会に、辻本理事長と出席させて頂きました。

出席したのは10カ国（英国、イタリー、スイス、ドイツ、オーストリー、オランダ、チェコ、カナダ、米国、日本）と22の組織からです。

NSGAの要請でなされたスピーチの要点を簡単に紹介します。

ヨーロッパ代表として、ドイツ及びEUの組合の理事長を兼務している、ヴェルナー・ハイツマン氏が、「ヨーロッパに於けるスポーツ店と21世紀への展望」と題してスピーチ。スポーツ店はいわゆる三悪、過剰生産、過剰在庫、厳しい価格競争に苦しんでいること。大型店問題は今のところ米国、日本ほど深刻な状況になっていないものの、やがていろんなタイプのスポーツビジネスの出現が予想され、より緊密な国際的情報、経験等の交換が必要なこと。そしてデータバンク（情報銀行）及びワールドサミットでの討議の必要性を強調された。

次に北米を代表してNSGAの副理事長トーマス・ドイル氏が「アメリカのスポーツ用品業界の傾向」と題してスピーチ。

- ①What Americans are buying?（購買の面から）
- ②What Americans are doing?（参加の面から）
- ③External forces affecting Purchases and Participation.（外部要因について）
- ④Trends at retail.（小売の傾向）



各項目とも、OHPを使用し、詳しいデータを示しながら説明されましたが、要点のみ記します。

- ①について：用具は毎年5%upしており、今後3~4%を予想している。シューズは過去5年間ほとんど伸びが無く、ただ1995年は若干伸びたので、暫く続く可能性が期待できる。ウェアは1990年以降ダウンしており、当分大した伸びは期待出来ないでしょう。
- ②について：このデータで、どんな商品が売れているかを容易に判断できます。インラインスケートが急速に伸び、次いでバスケット、サッカー、アイスホッケー、ローラーホッケーがアップし、今後5年間はサッカーとローラーホッケーが期待出来るでしょう。
- ③について：消費物価指数によると、物価の上昇率は3%位で、スポーツ用品では1%位なのでこの状況はスポーツ業界にとり好ましいと思われる。

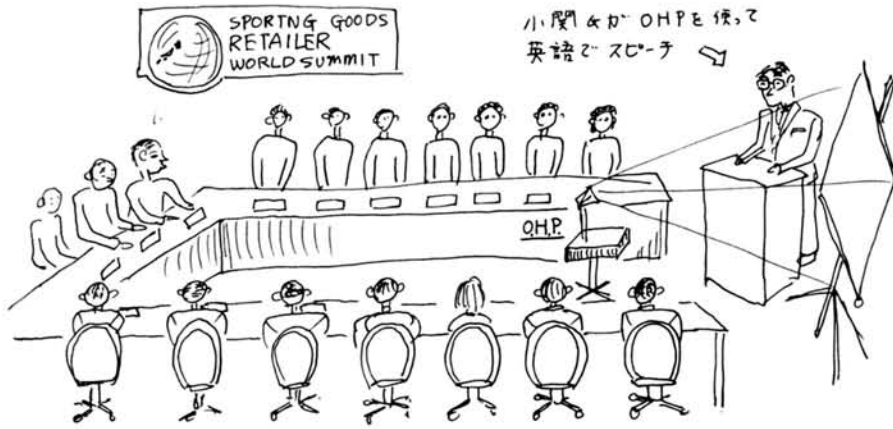
最近スポーツ人口の高齢化が見られ、家庭に設置するトレーニング機器の急速な伸びが、スポーツ用品の売上に大きく寄与した。

反対に、米国人のレジャーに費やす時間は年々減少しており、女性の労働への参加が大きな時間的制約の原因となっている。

- ④について：大型店が急速に増えており、中でもザ・スポーツオーソリティーが最も多い。大型店の平均の売場面積は1,500坪位である。

そして、大型店は昨年1年間を合計すると、





ションの促進につき要望された。色々な意見の中で、例えば、「ファクトリーアウトレット」については、ある小売店で扱っている同じ商品を、すぐ近くに出店したメーカーが、ディスカウント販売したため、大きな問題になった例を引かれ、その対策として、メーカーと継続的な話し合いの必要なこと、それも個人対個人

約10万坪の売場を増加した。その為、ウォルマートやシアーズ等の超大型スーパーのスポーツ売場と激しい競争が始ろうとしている。

しかしながら、最近特に注目すべきことは、大型専門店の出現であり、550~820坪位で従来の専門店の4倍くらいの広さで、主にシューズ、自転車、アウトドアの専門店に見られる新しい傾向である。

次に、私のスピーチにも若干触れさせて頂きたい。タイトルは「日本のスポーツ事情と小売店の状況」です。

- ①日本経済の現状について
- ②最近のスポーツ用品業界の現状
- ③日本に於けるスポーツ販売店の変革

詳細については紙面の都合もあり、割愛させて頂きますが、【図表-1】、【表-2】を掲載致します。内外の大型スポーツチェーン店が今後益々増大する中で、私ども従来のスポーツ店が生き延びていく為には、幾つかの 카테고リーに絞り込んで、いわゆる専門店として、より深く勉強し、大型店では出来ない専門的な商品構成と、ユーザーへのきめの細かいサービスをしていく必要があるのではないかと話させて頂きました。

そしてこの事は各国の共通の問題であることが判った次第です。

引き続き、初めてのサミットなので、各国が抱えている問題点など色々な意見がだされ、お互い迅速な情報の交換と、コミュニケー

ではなく、グループでのディスカッションが大切であること。本来メーカーとの間には、衝突するような問題がないので対話を通してそれぞれの立場を理解し、共存できる道を模索しなければならない、等の報告があった。

今後もサミットの間での討議の継続ということで、次回は1997年2月のISPOにあわせて開催することが決議された。

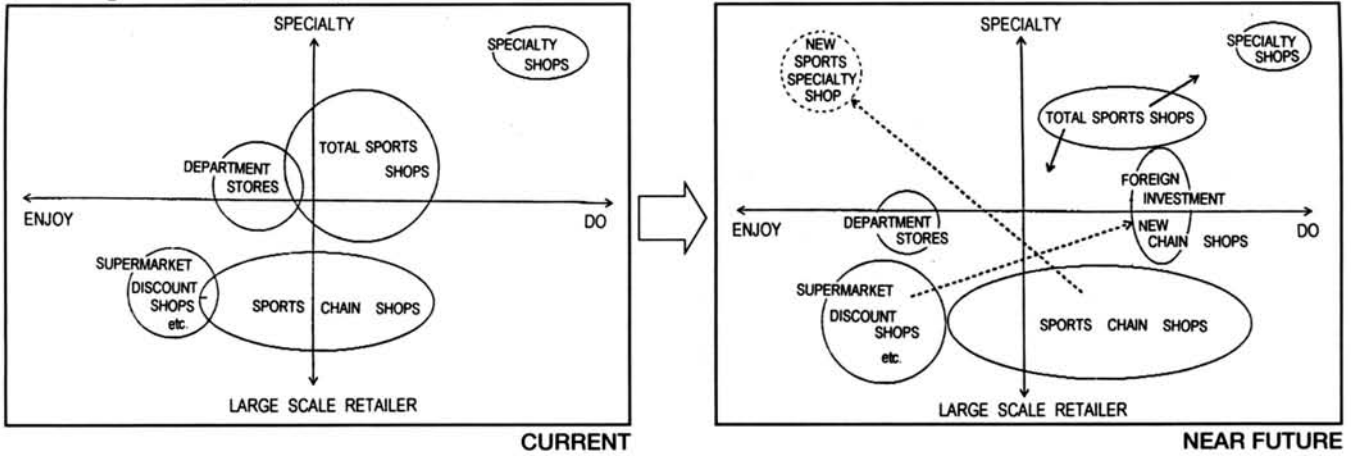
最後に、NSGAの理事長ジェームス・フォルティネク氏が、会議の後に寄せられたメッセージの一部を付記させて頂きます。「私はこの度の会議は“歴史的な会議”であったと申しあげたい。これまでは伝統的に小売業者の関心は、国際的というよりも、むしろ国内のことにありました。それが、各国に共通の問題と、関心があることが確認されたことは本当に異議の深いことです。」



会議室にて辻本理事長（左）と小関常務理事

[Changes in Sporting Goods Market and Related Factors]

【図表-1】



[MARKET SIZE OF JAPAN(RETAIL BASE)]

【表-2】

UNIT : US MILLION DOLLAR UP : RATIO DOWN : COMPARE PREVIOUS YEAR

	'91	%	'92	%	'93	%	'94	%	'95	%
GOLF	6,288	26.4	5,592	24.1	4,645	21.1	4,370	20.2	4,095	19.0
SKI	4,597	19.3	4,220	18.2	3,943	17.9	3,597	16.6	3,247	15.1
FISHING	2,309	9.7	2,492	10.7	2,573	11.7	2,698	12.5	2,865	13.3
WEAR	2,050	8.6	2,172	9.4	2,275	10.3	2,273	10.5	2,274	10.5
OUTDOOR	1,140	4.8	1,335	5.7	1,466	6.6	1,594	7.4	1,609	7.5
ATHLETIC FOOTWEAR	1,046	4.4	1,141	4.9	1,215	5.5	1,228	5.7	1,231	5.7
TENNIS	1,564	6.6	1,529	6.6	1,285	5.8	1,137	5.3	1,067	4.9
SWIM WEAR	849	3.6	840	3.6	894	4.1	908	4.2	922	4.3
BASEBALL	851	3.6	875	3.8	802	3.6	722	3.3	731	3.4
MARINE	953	4.0	849	3.7	684	3.1	738	3.4	731	3.4
SNOWBORD	85	0.4	135	0.6	211	1.0	395	1.8	810	3.8
CYCLESPOITS	608	2.6	547	2.4	481	2.2	410	1.9	380	1.8
BADMINTON	184	0.8	185	0.8	188	0.9	181	0.8	182	0.8
BUDO	230	1.0	235	1.0	227	1.0	210	1.0	190	0.9
TABLETENNIS	137	0.6	149	0.6	165	0.7	147	0.7	141	0.7
OTHERS	908	3.8	935	4.0	1,001	4.5	1,029	4.8	1,090	5.1
TOTAL	22,055	100.0	23,231	100.0	22,055	100.0	21,635	100.0	21,565	100.0

(EXCHANGE RATE : US \$1.00=¥100)

YANO RESERCH INSTITUE LTD

※この表は、NSGAのワールド・サミットにおいて、小関常務理事が日本の市場を説明するのに使用した表です。ご覧のように、5年間で占有率が、大きく変動しているのがうかがわれます。

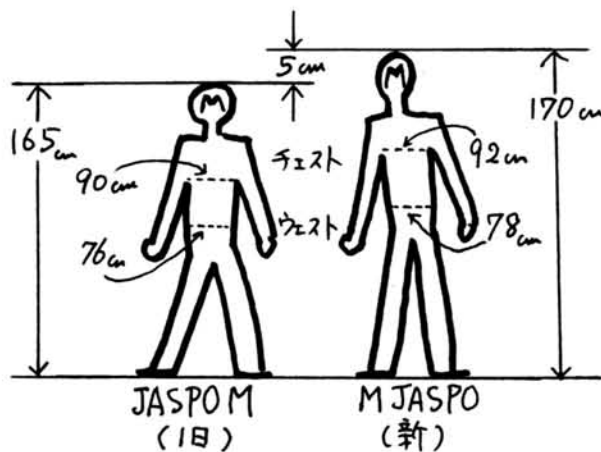
JASPOサイズ規格の改定のお知らせ

《実施は1997年の秋冬物から》

平成8年11月11日に開催された第4回常務理事会に先立ち、(社)日本スポーツ用品工業会から、川又専務理事さん始め、ミズノ、アシックス、デサント、ゴールドウイン、ヒットユニオン、オンヨネ、キャピタル各社の担当者の方々が来て下さり、JASPOサイズの改定について説明をして頂きました。

現行のJASPOサイズは設定以来20年を経過し、その間、日本人の体格の向上も目覚しく、現状に合わなくなってきたという判断から、1992年に実施された第3回日本人の体格調査の結果にもとずき、見直しが行われました。

成人男子用衣料規格は、1996年6月1日に公示されました。



【成人男子新サイズ表示】

JASPO記号	サイズ呼称	身長	チェスト	ウエスト
SS JASPO	84-3	160	84	70
S JASPO	88-4	165	88	74
M JASPO	92-5	170	92	78
L JASPO	96-6	175	96	82
O JASPO	100-7	180	100	86
XO JASPO	104-8	185	104	90

成人女子用衣料規格については1997年2月20日公示予定であります。

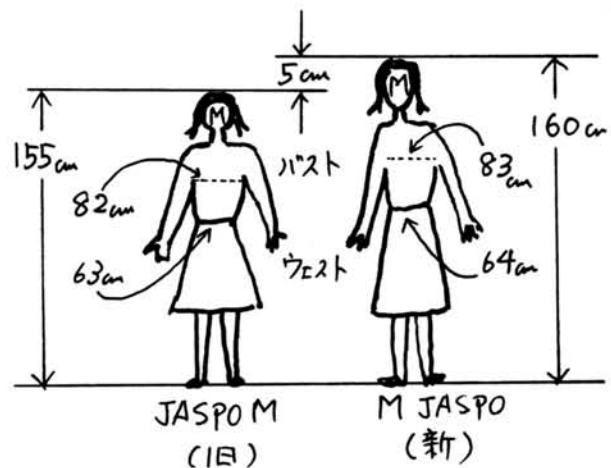
業界としては、サイズ規格の変更は男女同時に実施したいという各社の希望があり、97年秋冬規格商品から実施するという合意がなされました。

継続品番については従来のサイズ規格でいきます。

従来の表示は「JASPO M」、「JASPO L」と表現してまいりましたが、混乱を避ける為、新サ

*注目ポイント

- 1) 身長は男女とも5cmピッチです。
- 2) 男子のチェスト、ウエストは4cmピッチです。
- 3) 女子のバスト、ウエストは3cmです。
- 4) 以上のピッチについては新旧同じピッチです。
- 5) 数字については身長は男女とも新は旧より5cm高くなり1サイズアップした事になります。
- 6) しかし、男子のチェスト、ウエストは2cm大きくなり、
- 7) 女子のバスト、ウエストは1cm大きくなりました。



【成人女子新サイズ表示】

JASPO記号	サイズ呼称	身長	バスト	ウエスト
SS JASPO	5-1	150	77	58
S JASPO	7-2	155	80	61
M JASPO	9-3	160	83	64
L JASPO	11-4	165	86	67
O JASPO	13-5	170	89	70
XO JASPO	15-6	175	92	73

宛名シール再チェックのお願い

ご協力ありがとうございました もう一度「宛名シール」に ご注目願います。

平成8年10月の末に、「宛名シール」の校正のお願いを致しました。

事務局へ、なんと宛名修正要請のFAX.が530通届きました。この数字を聞いて、「なんていいかげんな宛名で送ったのだ。」と、お思いになる方も多くいらっしゃると思いますが、事務局と致しましては、後の整理は大変でありましたが、その関心の大きさに大変感謝して、大変嬉しく思いました。

それは、組合からの封筒かと言って、見ないで、ごみ箱へいかないように祈っておりました。しかし、いざ蓋を開けてみると、発送後の1週間ほど事務局のFAX.は、紙を吐き出しっぱなしでありました。事務局には1台しかFAX.がありませんので、FAX.が話し中（FAX.中）で、皆様にご迷惑をおかけしたのではないかと、恐縮に思った次第でございます。

今回の「宛名シール」も、再度チェックして頂くべく、皆様のTEL.No.もFAX.No.も再度載せましたので、もう一度、チェックのほどお願い申し上げます。

もし、間違いがありましたら、封筒にじかに修正頂き、その封筒で事務局まで、FAX.でお送り願います。間違いのない方は、FAX.無用です。

事務局のTel. 03-3865-7691

Fax. 03-3865-7704

名簿の完成は平成9年2月頃

今回の「JSRレポート」創刊号の宛名シールのチェックでもって、校正を終了する予定です。そして、全運小連の総会の前までに2,350軒の組合員の皆様を初め、卸メーカーの皆様へ「名簿」を直接郵送させて頂く予定です。

卸、メーカーの皆様に対してお送りする「JSRレポート」につきましては、無料にてお送りする予定です。

そして、名簿は平成9年2月頃印刷が出来あがる予定です。宛名シールにより2回にわたって校正して頂くこととなりますので、誤りがほとんど無い名簿が出来ることを期待しております。



編集後記

やっとのことで、創刊号の原稿を印刷屋さんへ届けることが出来ました。ここまで来るには色々な方に原稿を書いて頂いたり、チェックをして頂いたり、ご意見を頂いたりして、多くの方々のお世話になりました。本当にありがとうございました。

そんな、ほっとした時に名古屋の地方新聞紙に、パソコンのことが掲載されました。わたくしもこの「JSRレポート」の為に、ウインドウズ95のお世話になりました。しかし、私にとって、ウインドウズ95は大変なじゃじゃ馬でなかなか私の手綱さばきではうまく動いてくれませんでした。しかし、私のウインドウズ95は私の師匠がさわると、別の馬の如く動くのです。

その新聞の記事とは、「あなたのパソコンがほこりを…」の著者の紹介や、「パソコンは簡単になったか?」とか、30万円を投資してパソコンを買ったけども、難しく、買ったお店に問い合わせても、ソフトやさんに聞いてくれ、ソフトやさんに聞いても難しくてどうしたら良いか分からずに止めてしまった、というような記事でした。

私も同じような状況に何回も陥りましたが、しかし、私には良き師匠がフォローしてくれたので、機関紙の発刊もここまで来ました。ありがとうございました。

新聞に書いてあるように、パソコンは簡単ではないが、身近に、良き先生が近くにいらっしゃれば、是非チャレンジする価値があると思います。未着手の人にはお勧め致します。

今後、「JSRレポート」には各県レポートを沢山お伝えたく思っておりますので、「こんなことで頑張っている。」とか「こんな状況です。」というような寄稿をお待ちしています。(つじもと)